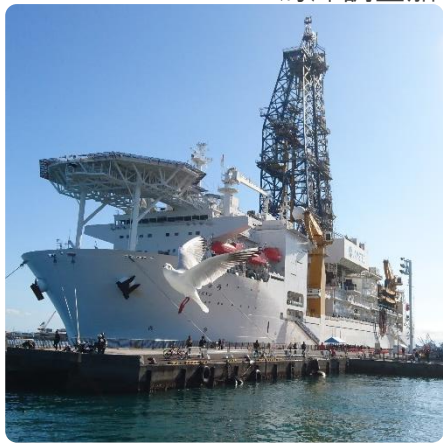


コンテナ船



海洋調査船



クルーズ船



災害支援船



清水港長期構想

1 長期構想とは・・・

◆ 港湾における「長期構想」は、港湾管理者が、おおむね20～30年の長期的視点から、港湾空間利用の基本的な方向性をとりまとめるものです。

「清水港長期構想」は、検討委員会を設置し、港湾関係者に加え、新技術や観光など様々な分野の有識者のご意見を反映し、基本理念のもと、現状分析と時代認識をもって、おおむね20年後

(目標年：2040年)の将来の共感できる目指す姿をデザインするとともに、その実現に向けた基本戦略や取組施策等を取りまとめ、2019年8月に公表しました。

今後、策定した「長期構想」を踏まえ、10～15年後の具体的な整備計画である「港湾計画」を改訂し、取組施策を実現していきます。

2 策定の背景

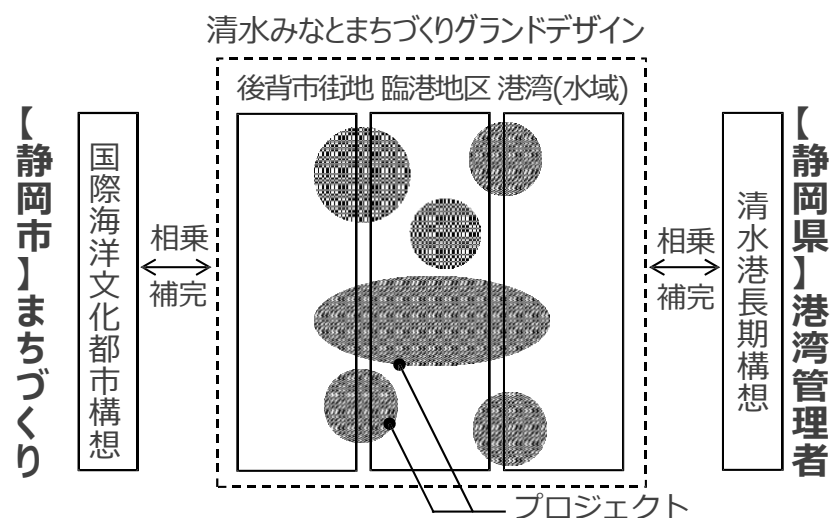
◆ 近年、海運業界の再編を始め、船舶の大型化やクルーズ需要の高まり、温室効果ガス排出削減など、世界的な社会情勢の変化とともに、国内では生産年齢人口の減少に伴う労働力不足など社会問題が顕在化しています。

清水港は、近年の高速道路網や富士山静岡空港の拡充により、拠点性が高まっており、2020年の中部横断自動車道の開通を契機として、山梨・長野県などさらなる交流拡大が期待されています。

また、静岡県、静岡市及び地元民間企業が連携し、“みなと”と“まち”を一つの資産として、地域経営を担う「清水みなとまちづくり公民連携協議会」を設立し、清水港及びその周辺地域一体の具体的な『グランドデザイン』を描き、その実現に取り組み始めています。

このため、港湾管理者である県は、これまでの延長線上ではなく、第4次産業革命と呼ばれるAIやIoTによる技術革新の進展を見据え、おおむね20年後の清水港の将来像となる『長期構想』を、『グランドデザイン』と方向性を共有し、策定しました。

【清水みなとまちづくり公民連携協議会】



3 長期構想の構成

基本理念

スマート ガーデン ポート 清水

蓬莱、仙境、庭園のような『美』しい空間の中、
物流、エネルギー、災害、環境等の様々な社会課題に対応可能な『知』を備え、
みなとを使ってよかった、清水で暮らして、訪れてよかったと実感できる”みなとまち”を創造する。

明治24年日本水路部刊行『海図 清水港』より「対景図」

※目指すのは、『美』と『知』の融合。（“スマート”だから“美しい”）

▶ 『美』と『知』は多様。清水ならではの『美』と『知』を追求する。

beauty		▶ 美しさ、美観、美容
smart	--- efficient	▶ 効率的
	--- high quality	▶ 質の高い
	--- saving (energy / cost)	▶ 省エネ／経費節約
	--- harmony (with the natural environment)	▶ 自然との調和
safe and secure		▶ 安全・安心
healthy		▶ 健康

2040年の目指す姿

- ①日本の中心でスマートな物流を実現し、利用者が**使いやすさを実感**できるみなと
- ②世界の英知が集まり、新たな**ビジネスが生まれる**みなとまち
- ③国内外の人々が**憧れ、何度も訪れ、滞在したくなる**美しいみなとまち
- ④**気軽に**海の豊かさを享受し、**楽しみ慈しむ**ことができる海辺の庭園
- ⑤訪れ、働き、暮らす人々が**安全・安心を感じられる**みなとまち
- ⑥災害時に**緊急物資受入拠点**として機能し、**迅速に平時の機能を回復**する強靱なみなと



主な取組施策

（施策の方向性）

スマートな物流 + 海洋産業の活性化と新産業の創出 + 安全・安心で文化力あるみなとまちづくり

（具体的な取組の一例）

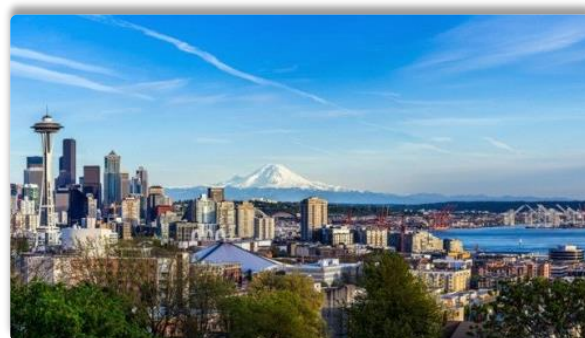
- 国際物流ターミナルの形成
- 国際クルーズ拠点の整備
- 海洋レクリエーション拠点の整備
- 海洋研究・開発拠点の形成
- 水面を活用したリゾートの形成
- 防災施設の整備推進 等



「ナポリ港」と「ベスビオ山」

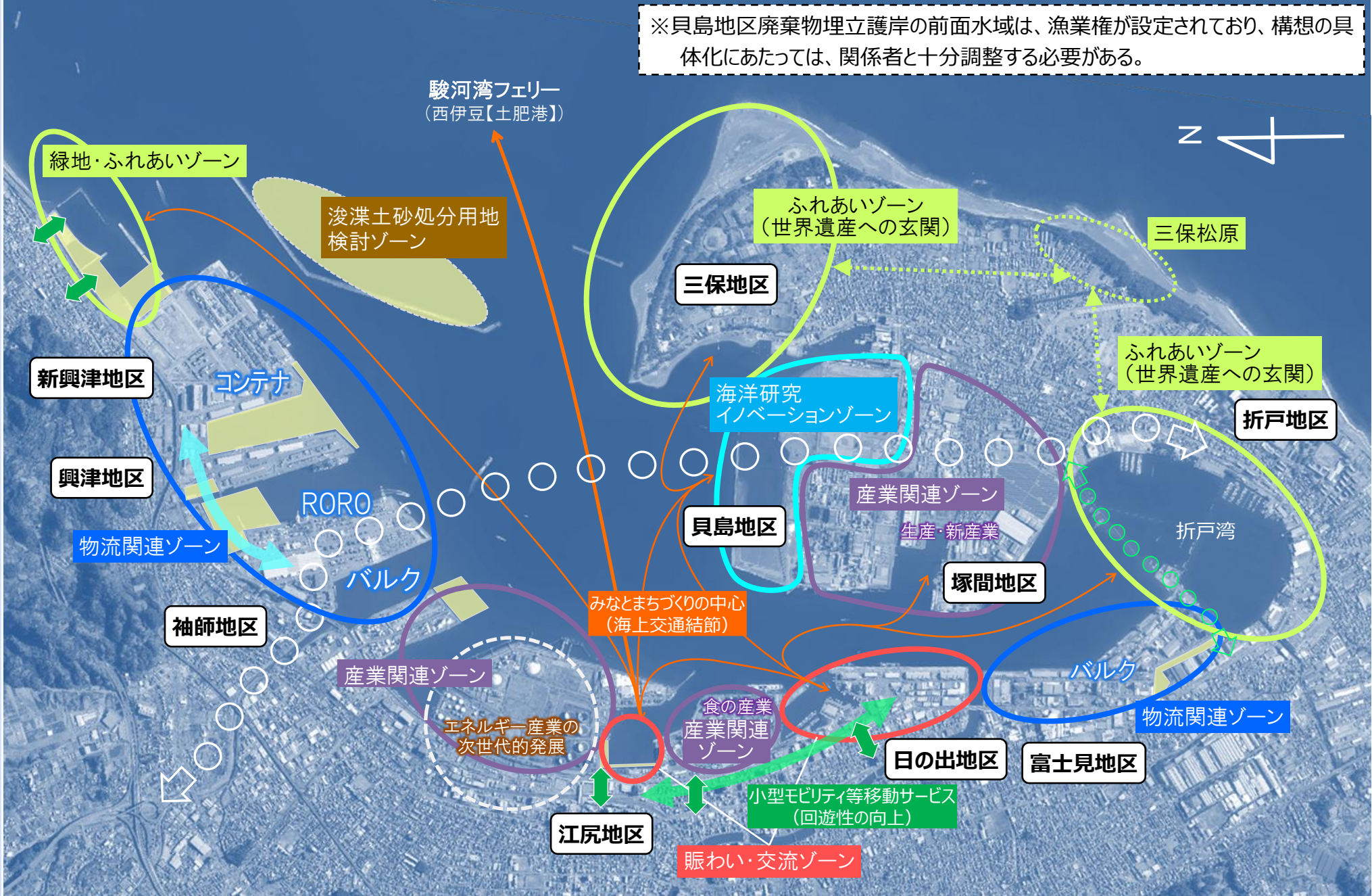


「清水港」と「富士山」



「シアトル港」と「レーニア山」

4 港湾空間利用のゾーニング



5 長期構想の実現に向けた推進体制

清水港では、古くより民間や官民が連携し、港を
発展させてきた歴史があります。

近年においては、平成2年の大型客船「クイーン
エリザベスⅡ」の寄港を契機として、官民連携による
「清水港客船誘致委員会」が設立され、国際旅客
船拠点形成港湾にまで発展するとともに、平成3
年に開催された「清水港・みなと色彩計画策定委
員会」の提言を推進する「清水港みなと色彩計画
推進協議会」が平成4年に設立され、色彩により
霊峰富士山の自然景観と人工（港湾）景観の
調和による美しいみなとづくりが行われております。

開港120周年を迎えることを契機として、港湾
管理者である静岡県が主体となり、国及び所在市
である静岡市と一体となって、公共投資の着実な
進捗を図るとともに、官民が参画する各種団体と連
携し、港湾の利用促進、クルーズ船誘致、及び景
観、まちづくり等を推進する体制を構築することで、

“地域ぐるみ”で長期構想の実現に取り組んでまい
ります。



推進体制のイメージ

6 主な取組施策-1

●スマートな物流

目指す姿① 日本の中心でスマートな物流を実現し、利用者が**使いやすさを実感**できるみなと

目指す姿⑥ 災害時に**緊急物資受入拠点**として機能し、**迅速に平時の機能を回復**する強靱なみなと

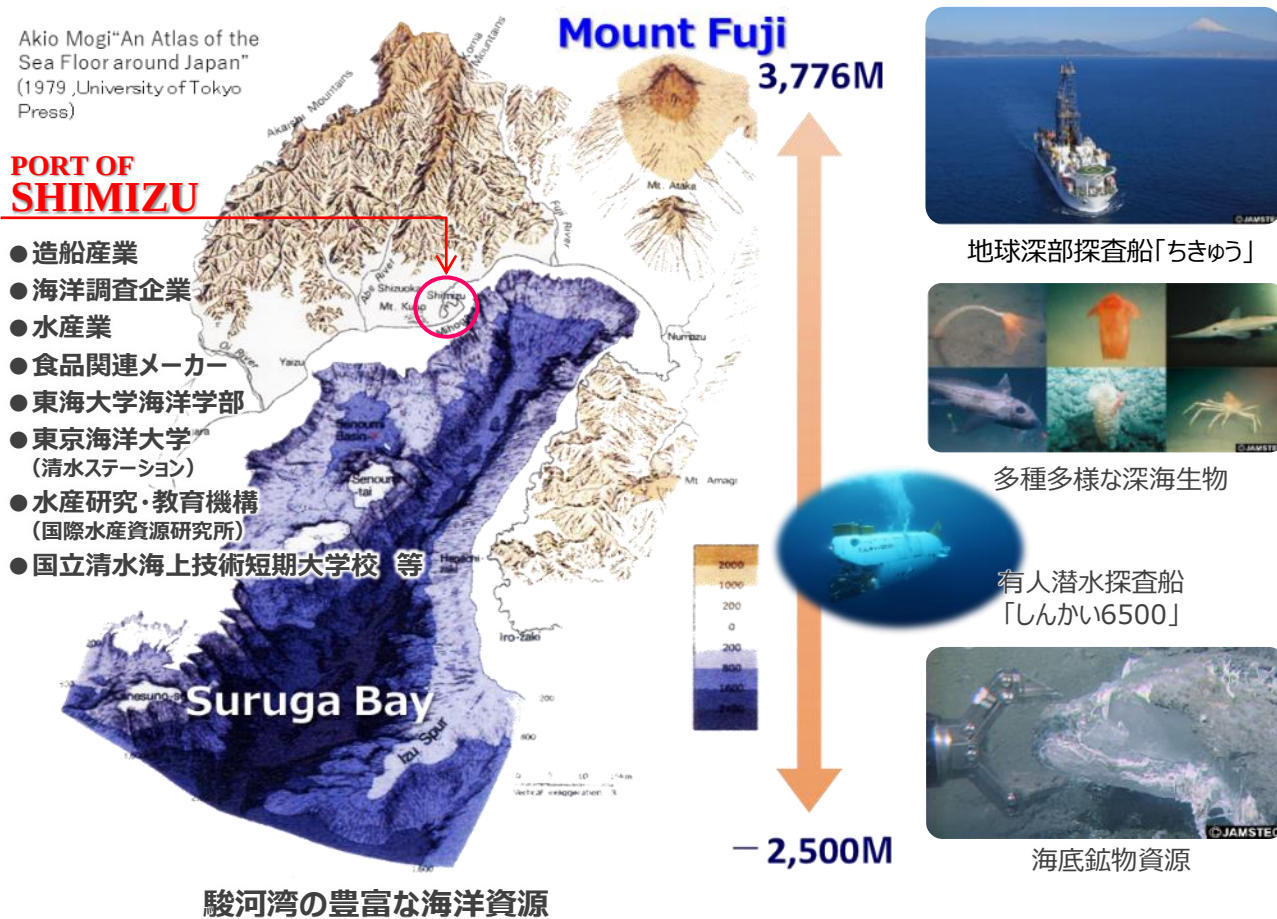


清水港の規模と災害への強靱性を考慮し、最適でスマートなロジスティクス・システムを構築
(首都圏を經由しない自立かつ最高水準のサービスを提供)

●海洋産業の活性化と新産業の創出

目指す姿② 世界の英知が集まり、新たな**ビジネスが生まれる**みなとまち

目指す姿④ **気軽に**海の豊かさを享受し、**楽しみ慈しむ**ことができる海辺の庭園



世界のモデルとなる駿河湾文化
(海を慈しみ、豊かさを育み、恵みを享受する文化)

ソフト面での取組

人材の集積と育成
(自然に人と英知が集まる仕組み[※])
長期的視点で人材育成
の仕組みを検討

地域づくり

「海洋」をテーマとした地域づくり

世界への発信と展開

成果のビジネス展開や
国際社会への貢献

海洋プラスチックごみ削減 に関する研究と行動の推進

※首都圏から近いことは、世界中からも近いという決定的強み。駿河湾の場とデータ利用のプラットフォームがあれば、人は自然と集まる。

6 主要な取組施策-2

●安全・安心で文化力あるみなとまちづくり

目指す姿③ 国内外の人々が**憧れ、何度も訪れ、滞在したくなる**美しいみなとまち

目指す姿④ **気軽に**海の豊かさを享受し、**楽しみ慈しむ**ことができる海辺の庭園

目指す姿⑤ 訪れ、働き、暮らす人々が**安全・安心を感じられる**みなとまち

●クルーズ + スーパーヨット

●ヘルスケア リゾート … ヘルスケア（心地よく、健康になれる海辺のまち） + 海辺の楽しみ（スポーツ、散策等）



my旅しずおか HP

近隣空港からのフライ&クルーズ



Royal Hotel And Healthcare Resort

Quy Nhon

スーパーヨットとは



近年、超富裕層が個人所有する「スーパーヨット」と呼ばれる船長24m以上の大型豪華クルーザー・ヨット。

スーパーヨットの受け入れ時には、燃料費・整備費・管理費などの維持管理費、食費・娯楽費などの消費が発生する。

（※石垣島に10日間滞在した際には1,750万円使用（沖縄タイムズH29.4.28））



やいま石垣さんばしマーケット



海辺の楽しみ(海上グランピング)

○まちと調和した防災施設の整備推進

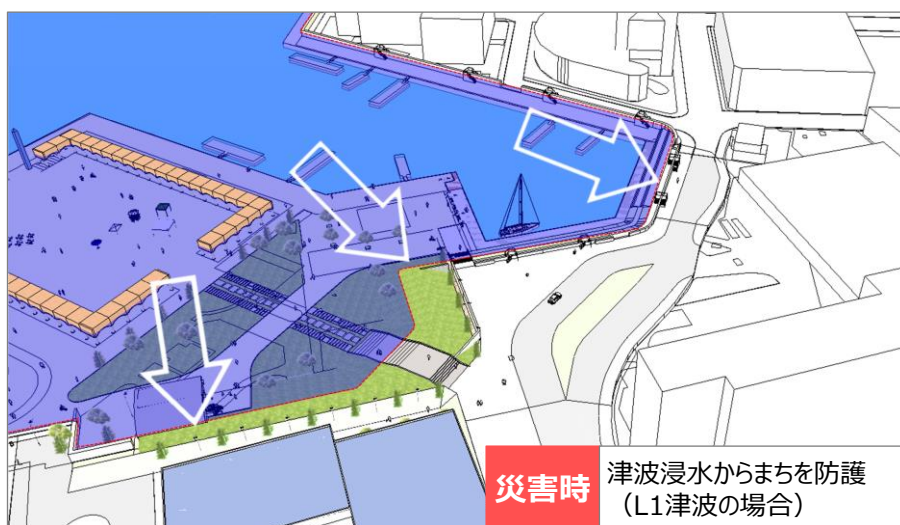
景観に配慮した防潮堤



平 時

起伏のついたレイアウトによりくつろぎの空間を提供

防潮堤整備の一例（日の出地区）



災害時

津波浸水からまちを防護（L1津波の場合）

訪日外国人にもわかりやすい情報提供



デジタルサイネージ（イメージ）

平 時

観光案内情報・交通情報を多言語で提供



災害時

災害時に必要な情報を多言語で提供

高質（ラグジュアリー）な暮らし方（住む、長期滞在）ができる憧れのまち
地域社会の重要な機能が致命的な障害を受けず維持されること

■ 具体的な取組の一例（物流・産業）

新興津・興津・袖師地区 国際物流ターミナルの形成



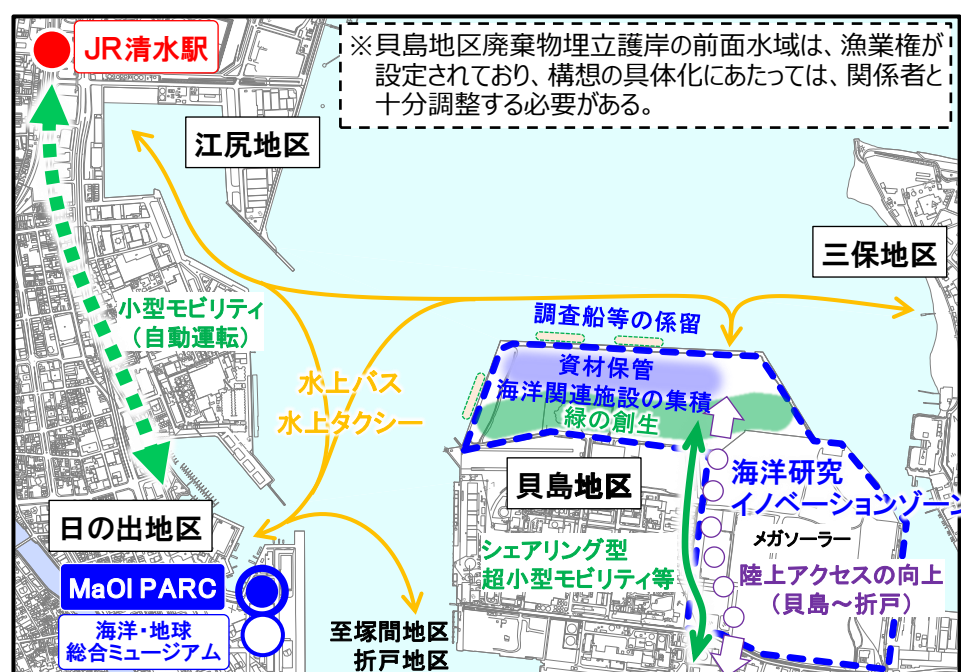
- 地震災害等地域の特性を踏まえた最適な「ヒトを支援するAIターミナル」を実現することで、平時における物流の効率化、労働環境の改善とともに、災害時における迅速な復旧の両立を目指す。
- ROROターミナルとコンテナターミナルの近接性及び背後交通網との結節性の良さを生かし、加工保管組立等の機能を備えたロジスティクスセンターを誘致することにより、通関手続き、積替に合わせ、付加価値を生むワンストップサービス等など、利用価値の創出を目指す。

【付加価値イメージ】

- ワンストップサービス（止めない物流）
 - ▶ 港（海外との結節点）の在庫拠点化による輸送効率UP
 - ▶ 冷凍冷蔵技術（冷凍冷蔵倉庫、リーファコンテナ）
 - ▶ 精度の高い検品、仕分け、梱包・組立等の流通加工
- 多様な輸送手段による代替輸送の確保
 - ▶ 状況に応じた海上コンテナ輸送、RORO輸送、陸上輸送の切替

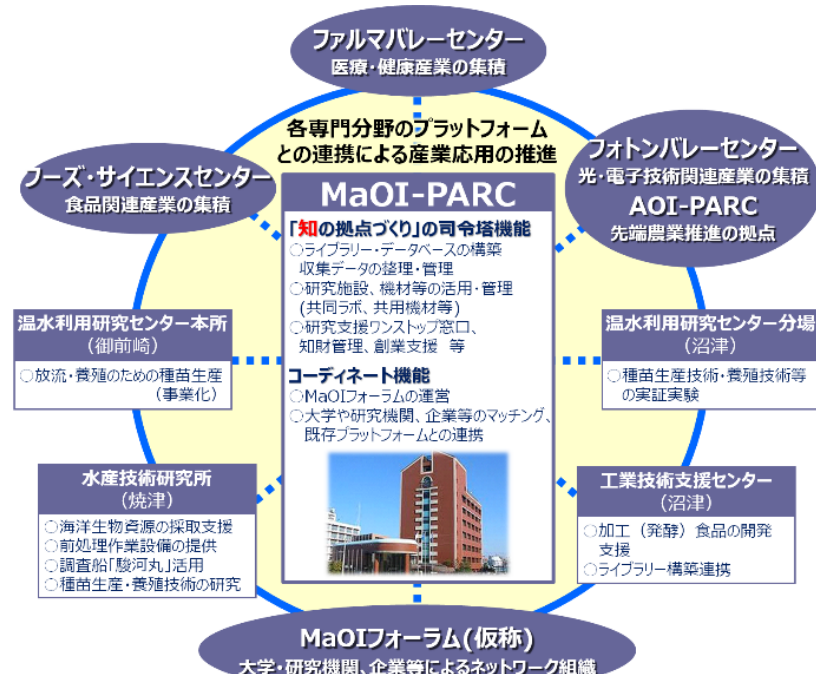
日の出・貝島地区 海洋研究・開発拠点の形成

- 埋立が完了する貝島地区は、海洋関連産業の集積を図り、海洋研究開発機構（JAMSTEC）の地球深部探査船「ちきゅう」等の研究船・探査船や作業船が長期係留可能な岸壁や緑と調和した施設用地（緑の創生）を整備する。
- 日の出地区に設置するマリンバイオテクノロジー研究開発拠点（MaOI-PARC）を核として、周辺産業との融合によるベンチャービジネスの創出を目指す。



MaOI PARC（マリンオープンイノベーションパーク）

静岡県は、駿河湾等の特徴ある環境や、そこに生息する多様な海洋生物など魅力ある海洋資源を活用し、「マリンバイオテクノロジー」を核としたイノベーションを促進するため、プロジェクトの中核となる研究開発拠点として、大学、研究機関、企業等が活用できる共用ラボや、レンタルラボ等を備えた「マリンオープンイノベーションパーク」を日の出地区に整備する。

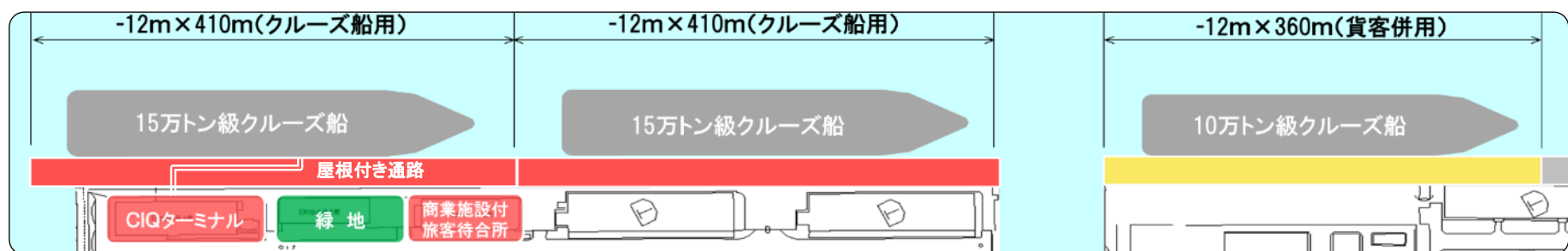


研究船・探査船のイメージ

■ 具体的な取組の一例（みなとまちづくり）

日の出地区 国際クルーズ拠点の整備

- 清水港は、2030年を目標として、連携する「ゲンティン香港が運営するクルーズラインの母港化」と「北東アジアクルーズの東日本における拠点化」を目指している。
- 日の出埠頭は、「連携する船社のクルーズ船」と「その他の船社の船」が同時着岸可能な複数のクルーズ船用岸壁を整備する。また起終点港として必要なC I Q機能などを有する「国際旅客船ターミナル」を整備する。



国際旅客船ターミナル整備(イメージ)



(出典：国土交通省港湾局「SMOOTH VOYAGE」資料を一部加工)

乗下船から寄港地観光を結ぶ円滑かつ快適な移動(イメージ)

折戸地区 水面を活用したリゾートの形成

- 護岸の防災対策やスーパーヨットの受入が可能となるマリーナ機能の拡充を行うとともに、回遊性の向上や折戸湾の水質改善に取り組むことで、気軽に海とふれあうことができる、心地よい親水空間を創出する。
- 「水面の利活用と一体となった背後地の民間開発」を促すことで、健康になれる海辺のリゾートを形成する。



水面を活用したリゾートの形成
ハイグレードホテル、水上コテージ、海上レストラン、お風呂ポート、遊歩道、ヘルスケア施設等

※マリーナ機能の拡充にあたっては、船舶航行安全の観点に十分留意する。
※新設道路のルートについては、今後関係者と調整しながら検討する。



■ 具体的な取組の一例（みなとまちづくり）

新興津・三保地区 海洋レクリエーション拠点の整備

- 新興津地区は、人工海浜、海釣り公園を整備し、磯遊びや釣りなど海洋レクリエーション振興を図るとともに、連絡橋により地域とつなぐことで、農水産品の直売など地域や道路利用者の交流の場を創出する。
- 三保地区は、内浜海水浴場を中心として、マリンレジャーやビーチスポーツなど国内外から人が集まるマリンスポーツ拠点を目指す。



港内全域 各拠点間をつなぐ移動サービスの創出と水際を周遊する緑道の整備

- 次世代型モビリティや水上交通など多様な移動サービスを創出し、拠点間移動の利便性を向上させるとともに、江尻・日の出地区においては、小型モビリティ等による多頻度運行を実現させ、周辺市街地との回遊性を高める。
- 清水港線跡地を始め、折戸防波堤等に緑道を整備し、海や緑を感じることができる快適な空間を提供する。

※貝島地区廃棄物埋立護岸の前面水域は、漁業権が設定されており、構想の具体化にあたっては、関係者と十分調整する必要がある。

